



駒澤会だより

第4号

(2005年8月1日)

発行：駒澤大学 駒澤会

◆◆◆新年度会長ご挨拶◆◆◆



駒澤会委員総会は5月21日無事終了致しました。皆様のご協力に対し厚く御礼申し上げます。

さて、本年度も魅力ある明るい駒澤会になり、入会者が増えればと思っております。皆様のご尽力を心よりお願い申し上げます。

会長 磯田 昭

◆◆◆平成17年度委員総会◆◆◆

5月21日(土)午後2時から平成17年度駒澤会委員総会が、奈良名譽会長(総長)のご挨拶の後、下記の議題で開催された。



16年度の各部の活発な活動報告があり、17年度の活動も大いに期待できる内容豊富な計画が発表された。しかし予算については、基金依存の体質は解消されず、抜本的な改善の必要性がクローズアップされる結果となった。また、基金運用については、ノーリスクの堅実な運用を要望する意見があり了承された。全般的には会員の出席も低調で盛り上がり欠ける討議と懇親会であった。(総務部 新島 記)

議 題

1. 平成16年度各部活動報告
2. 平成16年度決算及び監査報告
3. 平成17年度各部活動計画
4. 平成17年度予算
5. 基金運用状況の報告
6. その他



懇親会司会
赤堀さん→



乾杯の音頭を取る
←高笠さん



◆◆◆新年賀詞交歓会◆◆◆

1月22日(土)午後2時より東京全日空ホテルにて行なわれ、駒澤会からも会長以下50名参加、後援会の会長の挨拶に始まり、来賓者の祝辞に続き、懇親会に移る。余興とし、吹奏楽部のマーチング演奏などが行なわれ、恒例の福引にも本年度より駒澤会特別



賞を贈呈。好評を博し、和やかな雰囲気の中で幕を閉じた。その後、駒澤会の二次会は赤坂「ルーズ3乗」にて行なわれ、名残を惜しみながら散会となった。

駒澤会特別賞

熊本旅行 旅行記

宮前 享司さん

駒澤会特別賞とは・・・

教育後援会会員、大学関係者が多数集まる新年賀詞交歓会で「駒澤会」をアピールし、より多くの入会者へ繋げたいという趣旨で設けた新年賀詞交歓会の福引景品（2泊3日沖縄旅行）です。

2005年1月22日に行われました新年賀詞交歓会で最後の抽選で大賞である駒澤会特別賞の旅行券を頂く栄誉に与りました。駒澤会特別賞は沖縄旅行をご提案いただいていたのですが、この大賞の旅行券で義母（90歳になりました）を連れての熊本旅行をさせて頂くことに致しました。

義弟が仕事の関係で3年前から熊本に単身赴任をしており、義母は一度でいいから義弟の働いている熊本に行ってみたいと申し出ておりました。曇天の天気ではありましたが3月18日に義母・妻と3人で新横浜10時09分発のひかり13号に乗車し熊本に向け出発致しました。博多駅着15時15分・乗り継ぎのつばめ51号（15時35分発）を待つ間駅構内で、はとが我々の周囲に寄ってきて餌を欲しがり小生の手から餌をついばむ等久しぶりにのんびりとした時間をすごしました。16時51分熊本着。1日ばかりで熊本まで。夕食を兼ね海の幸を着にます1杯。迎えに来てくれた義弟と4人で久しぶりの再会と90歳の義母



を連れての旅行の第1日目が無事終了した事に感謝しました。

翌日は昨日の疲れも忘れ阿蘇山系・高千穂峡へと精力的に動き回りました。ただしペースはゆっくりと。アメリカンファーム（野菜市場）を早朝

から見て歩き塩トマトのおいしさを知り、物価の違いを知りました。阿蘇の山頂はガスが出ている為登ることができませんでしたが、晴天に恵まれた草千里では90歳の義母と妻が馬に乗り草千里を見て回るといふ大技も見せてもらいました。義母は初めて馬に乗ったとのことで大変喜んでおり小生も一緒に旅行ができたことに感謝いたしました。

午後からは阿蘇を後にして一路神話の里の高千穂峡へ向いドライブですが、楽しんでいるのは小生のみ。後部座席の2人はドライブを楽しむのではなく眠りを楽しんでいました。高千穂町へ到着、天の岩戸を見学し高千穂峡の神秘さ・水の青さに感激しました。

翌20日はゆっくりとスタートし天草5橋へ行くことに致しました。天気は本日も晴天で観光日和です。10時30分過ぎに支度をし出掛けました。車に乗るときに妻が『近くを大きな車が通った様な振動があったけど』ダンプカーでも通りました？と朝から変な会話。このとき博多沖で大変なことが起こっていたとは我々は全然知りませんでした。高速道路を天草に向い走行していると携帯電話にメールが入り九州旅行中の我々への安否を気遣ってくれた内容でした。この時まで博多沖を震源とする大地震が起こっていたとは知らなかった我々でしたが、ラジオからのあらゆる情報を収集し道路状況を確認する事に気を配りました。大事を知ってから義弟に連絡しようと何度も試み



ましたが回線がバンク状態で連絡を取る事ができずにいました。ただし天草への道路状況は問題なさそうなのでのんびりと観光を楽しむことに致しました。天草5橋見学では三角町の『宮川』で車えびの会席料理を食し、満足致しました。夕方何とか電話回線も回復して家族・友達から大変心配をしていた事を聞き申し訳なく思いましたが、連絡が取れなかったが本日も無事天草5橋を堪能してきたことを報告いたしました。

のんびりとした旅行もこの日以来天気にも恵まれなくなり長崎方面へ回って帰宅する予定も変更せざるをえなくなりましたが、義弟の働く姿も充分義母に見せてやることができ大変満足できた旅行となりました。

駒澤会よりの特別賞当選に依り親孝行旅行ができました事に大変感謝いたしております。駒澤大学教育後援会委員の役も5月の総会にて無事終了し卒業することができました。大変ありがとうございました。

◆◆◆祝賀会◆◆◆

今年もサッカー部(H17.1.28)、吹奏楽部(H17.2.15)、陸上競技部(H17.3.11)の祝賀会が行われました。



◆◆◆恒例となった駒澤会懇親会、開催される◆◆◆



6月11日(土)心配していた台風の影響もなく、定刻(18時)に駒澤会会員32名

(新会員4名)を乗せて屋形船が川岸を離れていった。

川を少し下ると、ビルの際間を埋めるように西の空が茜色に染まっていた。東京の夕日ってこんなに綺麗だった?なんて思っていると、空に大きな虹がかかっているのが目に入り、その美しさに息を呑んだ。正にレインボーブリッジを通過したときだった。

間もなく、アルコールとお料理が運ばれ、厚生部部長の開会の挨拶



と無礼講宣言のあと、高笠副会長から、「今日、屋形船に乗るのを楽しみにしていた。昨夜は嬉しくてなかなか寝付けなかった…」と微笑ましい挨拶を頂いた。次に、いつも和服姿がお似合いの高見副会長の乾杯で宴が始まった。

アルコールが入り、和やかな雰囲気が出てきた頃、参加者の自己紹介を兼ねて全員にお話を頂きました。一人一人の挨拶に聞き入る中で、某会員のご親戚のお話に心を打たれた。昨年、某会員の奥様が他界され、心配で様子を見がてら遠方から時々いらっしゃるのだそうだ。そのご親戚の方が



写真提供
山田元弘さん

「こんなに素晴らしいお仲間にもまれていて、安心しました。」とご挨拶を述べられた。座に優しい雰囲気も広がり、「お任せください、駒澤会で見守らせていただきますから」と、声にならない、皆さんの胸の内が聞こえてくるようだった。

宴もたけなわになり、カラオケが飛び出す頃、船はお台場に停泊した。屋根に上がって夜景を楽しむ人、カラオケに興じる人、隣の人と話して花を咲かせている人、それぞれの過ごし方で楽しんでいた。そして終了間際、恒例の「青い山脈」を大合唱した。その後、三宅副会長に閉会の挨拶をいただき、厚生部部長の三本締めで和やかなうちに幕を閉じ、浅草橋をあとにした。

今回、厚生部の一員として、皆様楽しく過ごせるように、心を砕いていたため、夜景を見る余裕がありませんでした。従って、東京湾の素晴らしい夜景について書くことができないのが残念ですが、皆様は楽しんでいただけたでしょうか?厚生部では今後も皆様に楽しんでいただけるように、様々な企画を立案してまいります。また、皆様の斬新なアイデアがありましたら、是非厚生部までご意見をお聞かせください。

最後になりましたが、今回の懇親会が事故・トラブルもなく、和気あいあいのうちに終わることが出来ましたのも、御参加頂いた皆様のご協力のお陰と感謝申し上げます。ありがとうございました。(厚生部 田邊 記)

秋の1泊研修旅行(箱根)

実施日:平成17年10月1日(土)~2日(日)

現地集合、現地解散で予定しています。どうぞ皆様の御参加をお待ち申し上げます。

場所:箱根湯本 河鹿荘です。(厚生部)

◆◆◆駒澤会奨学金受給生の言葉◆◆◆

駒澤会奨学金は学生の夢を育てる

法学部政治学科4年 長澤 理恵

この度は、駒澤大学駒澤会奨学生に選んで頂き、大変光栄に感じております。

私は昨年の夏、約一ヶ月間にわたりイギリスに短期留学をしました。私は以前からずっと留学をしたいと考えていました。それは、よりたくさんの人々とコミュニケーションを取りたいと考え本場のイギリスで英語のレベルアップをしたい、学生時代に様々な体験を通して自分の視野をもっと広げたいという思いからでした。その留学の費用のためアルバイトを少しずつお金を貯めました。大学の授業やゼミ活動が忙しかったこともあり、目標額に達することができなかつたため、両親に援助をしてもらいましたが、少しでも両親の負担を軽くしたいと考え今回、応募させて頂きました。

この留学を通して、自分の語学力のいならなさやこれまでの勉強で足りなかつたところに気づき、これからもっと英語を勉強してうまくなりたいという気持ちが強くなりました。また、様々な国の人々との触れ合いにより、文化の違いを発見したり、日本について改めて考えさせられたり、今の自分に足りないものに気付かされたり、大きな刺激をたくさん受けました。今後はこの経験を活かし、英語の資格試験に挑戦をして、英語のレベルアップに励んでいきたいと考えています。

この駒澤会奨学金制度により、数多くの学生が自分のやりたいことや夢に役立てることができるので、これからもこの制度を続けていって頂けたら嬉しく思います。今後もこの奨学金に感謝し、より一層努力し頑張っていきたいと思っております。本当にありがとうございます。

今、動いているのは駒澤会のおかげ

経済学部商学科4年 西村 映里

この度、駒澤大学駒澤会奨学生に選んでいただいた事を大変光栄に感じております。

私は、マスコミ関係の仕事をしたとと考えています。この仕事は全国にあります。地域の指定を考えていない私は47県回る事を考えていました。大学に入学した頃から、そのために必死にアルバイトをして貯金をしていました。マスコミ関係の学校にも通いたいと思いつ金を通いました。田舎から上京してまで大学生をしているからには、学校での勉強も大切にしたいたいと思いつかり出席してアルバイトも頑張っていました。しかし就職活動の時期になると学校と全国を飛び回る就活とアルバイトという状況で、今までのように稼ぐ事が出来なくなると思いました。

実際に現在就職活動をしていて、いろいろな県に飛び回っています。忙しくアルバイトが出来ないだけでなく、多額の費用を要します。想像以上の交通費に苦しんでいます。

昨年の今頃に少し就活時の費用不足を想像して駒澤会に応募して選んでいただけのおかげで、今は就職活動が出来ています。夢のために動くには努力だけでは無理な事があり、それが資金です。今も思つように内定をもらえずにいろいろな県を飛び回っています。このように目標や夢に向かって動けるのも駒澤会の奨学生として選んでいただけたからだと思います。この事に感謝してこれからも、頑張っていきたいと思っています。

◆◆◆会員紹介 [大村宣雄さん] ◆◆◆

5月の風と緑の眩しい石神井公園を通り抜けて、大村前会長のお宅にお伺いしました。公園から前会長宅である豊嶋山道場寺まで広がる緑は、鮮やかな中にも色々と変化を見せていました。

石神井城址跡南麓にあり、豊嶋山という山号を



持つお寺は、江戸を抜け、鎌倉時代に至る歴史を感じさせる景観の中にありました。文中元年(1372)に大覚禅

師を招いて豊嶋氏の菩提寺として創建され、豊嶋一族の墓と伝わる石塔三基が残され今でも菩提が弔われているそうです。

諸堂は禅宗寺院らしく木立に囲まれ、山門は室町時代の建築様式で建てられ本堂は天平様式の唐招提寺金堂を模し、唐風の伽藍となっています。書院に入ると外部の喧嘩を飲み込んでしまう閑静な庭



には四季それぞれの
花が植えられていま
した。座して、想う
と一瞬、時空を越え
た別世界がよぎりま
した。



お寺の一日は、朝4時半起床、5時にはお寺全体に香の香りが流れ、6時に梵鐘が9打（除夜の鐘の108を縮めた数）鳴らされることから始まり、本堂地階にある坐禅堂では毎日曜、祝日には坐禅会が行われているとのこと。お寺の話もまた新鮮で、仏前に朝水をあげるのは、仏様の洗面のためだと話して下さったときは、はっとしました。飲み水だから、あればいいと思っていたのに、急に仏様が私達と同じように生活しているのだなと感じられました。

前会長は昭和46年に第19世を継がれ、各方面にて多くのご活躍をされております。これまで、身近にお話する機会がなく、今回も緊張してお邪魔した私たちですが、奥様を交えてのユーモラスな会話でお相手いただき、気さくなお人柄を実感致しまし



| < 略 歴 > | |
|----------|---------------------------------------|
| 昭和5年3月1日 | 東京練馬区石神井に生まれる |
| 昭和26年12月 | 駒澤大学文学部人文学科卒業 |
| 昭和46年10月 | 曹洞宗豊嶋山道場寺住職（十九世） 就任 |
| 昭和55年 4月 | 石神井農業協同組合参事職歴任 練馬区青少年育成石神井地区委員会会長 |
| 昭和60年 4月 | 練馬区青少年問題協議会 委員 |
| 昭和61年 9月 | 石神井公園の自然を守る会 会長 |
| 昭和63年 5月 | 石神井消防署 懇話会 会長 |
| 平成 2年 4月 | 駒澤大学高等学校 一如会会長 就任 |
| 平成 3年 4月 | 曹洞宗 権大教師補任 就任 |
| 平成 6年 5月 | 駒澤大学 駒澤会会長 就任 |
| 平成 8年11月 | 道場寺客殿新築工事落慶法要 厳修 |
| 平成11年 4月 | 曹洞宗 東京相門会 会長 |
| 6月 | 石神井警察署 懇話会 会長 石神井警察署 防犯協会 相談役 |
| 平成12年 5月 | 駒澤大学高等学校 一如会 相談役 駒澤大学 陸上競技部後援会 副会長 |
| 平成13年 | 練馬区社会福祉協議会 副会長 |
| 平成16年 5月 | 駒澤大学 駒澤会会長 退任 |
| 平成17年 2月 | 曹洞宗豊嶋山道場寺住職 退任 |

た。歓談ののち、本堂を始め各所に横山大観の掛け軸や、人間国宝、香取正彦作の香炉、永平寺貫首様の書、大学にご縁のあった方々の書等また、本堂・坐禅堂を拝見しました。客殿地階には坐禅堂があり毎日曜、祝日には坐禅会が行われているそうです。18世、19世、が建立された三重の塔、塔内に香取正彦作の薬師如来様が祭られ、毎月1回扉が開けられるそうです。ところが、この日は特別に拝観させていただきました。

一度では道場寺の全てをご紹介することはとても難しく、前会長のおはなしも大変楽しく、別の機会にでもご紹介ができればと思います。

尚 前会長のお名前、道場寺19世権大教師一二（いっ）宣雄大和尚様です。平成17年2月にご住職をご退任され、現在は東堂様（ご隠居）となりました。（広報部 玉川 記）

編 集 後 記

ご住職（ご子息清人氏）曰く、「草一本抜くのに苔を傷つけないようにするのが、それは庭がきれいになっても他を傷つけたのでは意味がない、という事を説いていただいたのだと思います。お邪魔した道場寺は人が人として何が大切なのかという事を暖かく諭して下さいました。それは奥様や若奥様のおもてなしの心にもにじみ出ていました。あまりの心地よさに長居をさせていただきました。東堂様何時までもお元気で。（広報部 露木 記）